



むたやま

久留米市立牟田山中学校通信

令和5年11月21日(火) No. 18 文責:校長

人権フェスタで考えを発信しました!

11月11日(土)9:00から南小学校の体育館で、牟田山中校区人権フェスタを行いました。人権ポスターや人権標語の展示、人権作文の朗読、吹奏楽の演奏など、地域の皆さんにそれぞれの活動を通して人権について考えを発信しました。大変多くの方にご参加いただき、小中学生、高校生、特別支援学校の生徒さん、地域の方々の活動を披露することができました。ありがとうございました。



【人権作文朗読の様子】

「言葉」3年 DHさん

「言葉はナイフ」言葉について考える上でこの言葉を思い浮かべます。「言葉」や「文字」は元々争いではなく話し合いという手段を使い、人々が平和に笑顔で暮らすために作られたものだと思います。でも、インターネットが普及した今、「アンチコメント」と呼ばれる言葉が画面を越えて人々をナイフのように平気で傷つけています。「言葉」は相手を救うこともできれば、傷つけることもできます。大切なのは一度立ち止まって考えて、相手の心を想像することだと思います。必ず誰もが誰かの大切なかけがえのない存在だから、その存在を失わないように、大切な人が笑顔でいられるように、これからも「言葉」について考え、上手に向き合いながら過ごしていきたいです。(要約)

「選択できる社会へ」3年 HMさん

性別によって服を分ける必要があるのでしょうか。女性でメンズの服が好きな人もいますし、男性でもコーナーを分けられることで服が見られず、嫌な思いをした人がいると思います。それらをなくすために、まずは男性用と女性用とで分ける必要のない場合には分けないこと。そしてみんなの意識を日常から変えていくことが大事だと思います。日常からジェンダーについて考えることで、服だけでなくもっといろいろなものを自由に選択することができるようになると思います。古い常識にとらわれずいろいろな考え方・見方を変えていくことでみんなが自由に生きてそして誰でも活躍できるそんな社会になっていくと思います。自分のことは自分で決める。そんな考え方が大切だと思います。(要約)



【吹奏楽部の演奏の様子】

二人の人権作文は、自分が実際に見聞きしたことをもとにしているのも、とても分かりやすく、聞いている方々にとっても考えさせる発表となっていました。また、吹奏楽部も一生懸命練習した曲で、会場の皆さんを楽しませてくれました。本当にありがとうございました。そして、後片付けをしてくれた部活動の生徒さんにもありがとうございました。



Hさんの講演を聞いて学習しました！



11月14日(火)にHRさんとTMさんに来ていただき、1年生に向けて聴覚障害に関する講演をしていただきました。1年生は特別支援学校との交流もありますし、28日には防災教室もあります。それらにつながるすてきなお話でした。補聴器をイヤホンと間違われて嫌な思いをしたことやコミュニケーションがとりづらく

てわかったふりをしてしまう人が多いことなどを教えていただきました。また、東日本大震災では75名の聴覚障害の方が亡くなっていて、情報が伝わらないことの危険さを知りました。社会を変える第一歩を牟田山中学校の1年生が踏み出せるようになってほしいと思います。



○僕がこの講演会で分かったことは、どんな障がいがある人でもない人でも、その人のことを理解し、認めあうことが大切だということです。この講演会がある前までは障がいがある人にはとりあえず助けようという気持ちで、相手が助けを必要としているかを考えたことがありませんでした。障がいがある=いつでも助けを必要としているということではないことを知りました。これからは相手のことをよく知り、行動しようと思いました。(ISさん)

○私は「人は見た目で判断してはいけない」ということが大切だと改めてわかりました。また、あきらめてしまう方が多いと聞いて、そのようなことがないように私たちが変わらないといけないなと思いました。もっともっと私たちは周りを見て、想像力を働かせて暮らしていきたいです。この世の中が誰でもが暮らしやすい世界になるといいと思いました。(THさん)